

「多摩市の学校図書館のこと、お話を聞かせてください。」①こんな学校図書館を考える本を、もうお読みになりましたか。

多摩市立図書館本館再構築基本構想
学校司書さんとの話／聞き取り資料
2016.09.23.

図書館雑誌 The Library Journal
2014(11) Vol.108 No.11

VOL.108 NO.11 CONTENTS

- 漆原宏のフォト・ギャラリー 725
- 窓 ● スタッフォスとしての図書館員 山内隆文 728
- こらむ図書館の自由 ● 展示コーナーに掲げられた「図書館の自由に関する宣言」 三上 彰 731
- NEWS 729
- 告知版 732 / 新聞切抜版 734
- 新館紹介 736

【特集】
学校司書法制化以降
—いま「学校司書」に求める専門性・その具体化—

学校司書法制化がもたらしたもの 塩見 昇 737
理想の学校図書館目指して—学校司書法制化後の取り組み— 河村建夫 740
学校司書法制化とこれから 森田達行 742
横浜市が求める学校司書 月形正昇 744
あらためて学校図書館の教育的意義を考える—「学校司書」の取組から— 東谷めぐみ 746
「学校司書」をめぐる日陰の取組 山本宏義 748
アメリカ学校図書館専門職の現状—バーバ・K・ストリプリング氏懇話会を— 山本敬子 750

● 編集委員会 (委員長) 山口 豊 (日本学芸大学図書館) (委員) 仲尾正司 (徳島大学附属図書館) 中村隆彦 (文芸春秋) 長谷川優子 (埼玉医科大学) 松本智郎 (東京大学) 岡部 豊 (京大) 三浦正典 (東京大学) 森田達行 (東京大学) 山内 薫 (東京大学) 漆原宏 (東京大学)

● 事務局スタッフ 柴 秀文・山下美佐子

● 今月の表紙 「November」

● 編集デザイン 戸塚誠 2014

図書館雑誌編集委員会

特集 ● 学校司書法制化以降—いま「学校司書」に求める専門性・その具体化—

学校司書法制化は、議員立法として1953年7月に両院議決で可決されました。翌年4月の施行から、まもなく60周年になろうとしています。

今、この法をめぐって、学校図書館界は歴史的な激動の波の中にあります。2012年7月の読売新聞報道に始まる、「学校司書」の法制化が現実味を帯びてきたからにはかなりません。また一方、文部科学省では「学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究協力者会議」を2013年8月9日に設置し、(1)学校図書館担当職員の担うべき役割・業務について、(2)学校図書館担当職員の質の確保を図るための方策について、2点の今年度内の取りまとめを予定しています。

これらの背景には、近年の「学校司書」配置率の上昇があります。2012年5月調査によれば、小中高の全国平均値は50パーセントを超えています。厳しい財政下にもかかわらず、着実な伸びを見せているのは、各自治体でその重要性が認知された成果と考えられます。

60年前、いわばまだ見ぬ学校図書館の理想を求めた学校図書館法案がありました。ようやく今、現実の学校教育自体が果敢に探究学習へ変わりゆく中で、学校図書館に軸足を置いて教育活動を支援する専門職の必要性が、実感を伴って見えてきたといえます。

資格を問わない有償ボランティアから、司書資格・教員免許を持つ院卒まで、と云われる多様な形態、出合った数だけ異なる学校司書像。学校図書館職員は、生涯を通じて初めて出会う「司書」になる可能性も高いのです。

今「司書」を冠する新たな職が定められようとしています。この問題は学校図書館関係者のみならず、種々越えた図書館員の専門性を考える契機として、広く関心を持っていただきたいと思い、特集としました。

(写真：長谷川優子・本誌編集委員、埼玉県立調布図書館)

※ あるいは、少し前の本に、「競争やめたら学力世界」フィンランド教育の成功・・・将来に求められている世界標準の学力とは何か。福田誠治著・・・OECDのPISAが話題でした。

図書館雑誌 The Library Journal
2013(11) Vol.107 No.11

VOL.107 NO.11 CONTENTS

- 漆原宏のフォト・ギャラリー 669
- 窓 ● 「はだしのゲン」でなかったら 飯田寿美 672
- こらむ図書館の自由 ● 松安と恋娘—「はだしのゲン」開発別冊に関して— 河田 隆 675
- NEWS 673
- 告知版 675 / 新聞切抜版 678
- 新館紹介 680

【特集】
学校図書館法60周年
—今、求められる学校図書館職員像—

特集にあたって 図書館雑誌編集委員会 681
学校図書館法と学校図書館の歩み—専門職員像の視点を中心に— 塩見 昇 682
1997年学校図書館法改正の司書教諭・学校司書の職務分掌を巡る 高橋恵美子 686
今、求められる学校図書館職員像 水井悦重 688
〈産経〉>学校図書館法60周年—今、求められる学校図書館職員像— 梅本 悠・中山美由紀・松井正英・水越規吾子・塩佐幸枝 690

レファ協で学校図書館をレベルアップさせませんか 田中順子 700

上海図書館の国際化サービス 周 明・沈 震雲 702

日本図書館協会会員の集い2013 in 埼玉を開催して 早川伸博 710

日本図書館協会学校図書館部第42回夏季研究集会 ● 技を磨く学校図書館「学校司書」の役割を考える 高橋恵美子 706
第42回夏季研究集会に参加して 保かおり 709

霞が関だより ● 第121回 平成25年度新任図書館長研修 文部科学省 696

● 編集委員会 (委員長) 山口 豊 (日本学芸大学図書館) (委員) 仲尾正司 (徳島大学附属図書館) 中村隆彦 (文芸春秋) 長谷川優子 (埼玉医科大学) 松本智郎 (東京大学) 岡部 豊 (京大) 三浦正典 (東京大学) 森田達行 (東京大学) 山内 薫 (東京大学) 漆原宏 (東京大学)

● 事務局スタッフ 柴 秀文・山下美佐子

● 今月の表紙 「Quercus serrata Murray」

● 編集デザイン 戸塚誠 2013

特集 ● 学校司書法制化以降—いま「学校司書」に求める専門性・その具体化—

学校司書法制化がもたらしたもの

塩見 昇

学校図書館職員制度のこれまで

2014年6月の学校図書館法一部改正により、「学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員」(=学校司書)を学校に置く努力義務を初めて法に明記した。学校図書館の仕事に携わる職員としてこれまで法定されてきたのは「司書教諭」だけであり、第5条に「学校図書館の専門的職務を掌る」と規定し、12学級以上の学校に必置とされている。ただその発令は「教諭をもって充てる」とされ、定数措置の裏付けはなく、学級担任や授業が主となる職から、学校図書館にかかわる時間が乏しく、発令の制度はあるが実態に欠けるのが大方の現状である。

地方、今回法制化された学校司書については、制度的保障が希薄な中で、配置の実態は多様だが学校図書館の日常的な実務を担い、教師と協働して授業をはじめ学校の教育活動に参画し、学校教育の遂行に關与しているケースも少なくない。制度と実態の間に対照的な二種の職員が存在し、未発令・配置を含めてその様態がさまざま、というのがこれまでも「学校図書館職員」の実態である。そこに内在する問題の打開、改善に今回の法改正がどうかかわるか、どう活かし得るのか得ないのか、が本特集につながる当面の課題である。

【学校司書】のあゆみ

学校図書館に働く教員でない身分の職員を指して「学校司書」という呼称が一般的に使われるようになるのは、1959年1月に全国学校図書館協議

図書館雑誌編集委員会

特集 ● 学校司書法制化以降—いま「学校司書」に求める専門性・その具体化—

理想の学校図書館目指して

河村建夫

本年度通常国会で学校図書館法を議員立法として改定し、学校司書を法制化した。そこには超党派の「学校図書館議員連盟」に依る国会議員一人ひとりが「衆百散の精神」を体して、学校図書館の歴史に新たな一歩を印したとの思いがある。那末の改定に依る議員連盟は、超党派の議員連盟が士族でずらり潤す尊厳に追い込まれる中で、届いた教諭の采百俵を時の運大車・小林虎三郎が分配せず、それをもとに開講学校をどれほどに深くを向に、立法すれば「我が事なれり」で、行政あるいは現場に任せないのでなく、法律上、次のステップをどう踏めばよいか、学校図書館関係者に限らず、さまざまな分野の方々や交流を深めながら理想の学校図書館像を目指したい。

昨今、自分でもの考える力をつけ、自分で判断できるようにする教育の必要性が強調されるが、それは読書に依る手立ではない。2000年を「子ども読書年」とするための、その前年の衆参両院での決議で「読書は、子どもたちの言葉、感性、情緒、表現力、創造力を豊かにするとともに、人としてよりよく生きる力を育み、人生をより味わい深い豊かなものとしていくために欠くことのできないもの」という理念をうたいあげている。皇

特集 ● 学校司書法制化以降—いま「学校司書」に求める専門性・その具体化—

生きる力を生徒に伝える学校図書館へ

公共図書館の実践からの提案

高橋真太郎

人の生きる力とは

鳥取県立図書館では2004年にビジネス支援サービスを始めて以来、一貫して県民の「仕事・生活に役立つ図書館」を目指して活動している。しかし、当館単独でそれを実現することは不可能で、市町村図書館や学校図書館などと連携しながらその実現を目指している。学校図書館との連携に関しては、館内に学校図書館支援センターを設置し、2名の現役の司書教諭を主担当として、資料の貸出や研修の実施、情報交換などを通して関係を深めている。こういった連携から見えてくることは、児童・生徒が通う学校にある図書館こそ、人が「情報活用力」を身につける最も重要な場所であるということだ。

現在、県内の小中学校や高等学校においても、学校図書館を活用した探究的な学習の必要性が認知されつつあり、児童・生徒が自ら課題を見つけ、必要な情報を探し、活用し、行動につなげるスキルを学びつつある。では、それを社会で活かす力「探せる」「活用できる」ことが、人生における「生きる力」なのではと感じている。

また、利用者からの質問には「生活習慣病になってしまった」、「訪問販売で高額商品を買ってしまった」など、事前にその事柄についての知識や対処方を知っていれば未然に防げた可能性のある相談も多く、情報を「探せる」「活用できる」ことに加え、情報の必要性に「気づく」ことも大切な力だと感じている。つまり「生きる力」は、情報収集・活用の必要性に「気づく」→「探す」→「活用する」の一連のプロセスだといえる(以後、「情報活用力」と呼ぶ)。

では、こういった力は、いつ、どのようにして身に付けるのだろうか。そこに大きく影響するのが、若者が学ぶ学校であり、学校図書館である。

公共図書館の活動から見るヒント

それは、先に述べた「気づく」力の習得に焦点を当てていくことだ。学校で身に付けた「探せる」「活用できる」力を、大人になって困難にぶつかった時に使ってもらえようという「気づく」ように社会に出る前からトレーニングをしておくことが大切だ。そのために、学校図書館が求める探究的な学習に関わるだけでなく、児童・生徒の学校生活や私生活の課題解決にも積極的に関わっていくことを提案したい。

私は県立図書館に赴任する前、高等学校の図書館で学校司書として勤務していたが、ここでは、大人が社会で困難に直面するのと同じように、生徒もさまざまな課題に直面していた。「友達と喧嘩

図書館雑誌編集委員会

特集 ● 学校司書法制化以降—いま「学校司書」に求める専門性・その具体化—

あらためて学校図書館の教育的意義を考える

「学校図書館の教育力7項目」の検証から

東谷めぐみ

はじめに

大阪府箕面市は、市民や学校現場からの要望に応える形で1992年から学校図書館に司書配置を始め、1998年に市内すべての小・中学校への司書配置を完了した。司書資格を持ち一校専任の任期付短時間勤務職員(3年任期)である。校内では教職員一人ひとりに関する研修等に属し、職員会議、校内研修、研究発表等にも出席する。また、各学校で同僚の司書サービスが行えるように、市は学校図書館司書連絡会(月1回)をはじめ数種の公的研修を保障している。

教育を支援する学校図書館を目指した「学校図書館を考える会・近畿」

資質の司書配置が始まる前年の1991年に「学校図書館を考える会・近畿」(以下「近畿」)が結成された。学校の中に図書館のはたきがあることで教育が変わると期待し、学校図書館および教育に関する学習と情報交流を行い、現場での実践に活かすことを一貫して目指してきた。会員は学校図書館に中心を寄せる市民、文章関係者、教諭、学校司書、公共図書館司書、研究者、議員等さまざまな立場の者がおり、箕面市の学校図書館作りも大きく影響を受けた。会では多くの学習会・講座を企画したが、特に「専門、専任」で採用され、校内会議・研修等に参加でき、公的研修が保障されている自治体の学校司書を対象とした大阪府学校図書館研修会(以下「府学研」)では、会員である研究者、公共図書館の方々等を講師として、学校図書館法、ユネスコ学校図書館宣言、読書自由、子どもの発達と読書、絵本や図鑑等資料研究、著作権、利用教育、指導要領等さまざまな

特集 ● 学校司書法制化以降—いま「学校司書」に求める専門性・その具体化—

学校司書法制化以降

「学校司書」に求める専門性・その具体化

「生きる力を伝える」「理想の学校図書館」「学校図書館が図書館である意味」「専門職の専門性」「学校図書館と学力」「あらためて学校図書館の教育的意義」・・・泳いだ眼が留まるキーワード

○ 「生きる力を伝える」「理想の学校図書館」「学校図書館が図書館である意味」「専門職の専門性」「学校図書館と学力」「あらためて学校図書館の教育的意義」・・・泳いだ眼が留まるキーワード

はじめに

多摩市立図書館本館再構築基本構想
学校司書さんとの話／聞き取り資料
2016.09.23.

はじめに

多摩市立図書館本館再構築基本構想
学校司書さんとの話／聞き取り資料
2016.09.23.

はじめに

多摩市立図書館本館再構築基本構想
学校司書さんとの話／聞き取り資料
2016.09.23.

「多摩市の学校図書館のこと、お話を聞かせてください。」 ②多摩市の学校の児童生徒は、豊かに本に出会えていますか。

多摩市立図書館本館再構築基本構想
学校司書さんとの話／聞き取り資料
2016.09.23.

○多摩市の図書館平成26年度一多摩市立図書館事業報告 より

○統計から学校図書館の状況を知る。

Ⅲ サービスの状況 5 子どもへのサービス

◎ (1) 第二次多摩市子どもの読書活動推進計画～すべての子どもに読書のよろこびを～

「多摩市子どもの読書活動推進計画」（第一次）での成果や課題を踏まえ、平成24年2月、「第二次多摩市子どもの読書活動推進計画～すべての子どもに読書のよろこびを～」を策定、平成26年度は計画推進の三年目となりました。

①推進連絡会

日常的に学校連絡会、市民連絡会及び庁内連絡会の担当者と連絡を取り合い、総合的な連絡調整と計画に基づく子どもの読書活動推進の進行管理を行ったことから、会議の開催ははまんでした。

②市民連絡会

5回開催し、計画の実行についての取り組みを進めました。

③学校連絡会

✖ 小学校2回、中学校1回開催し、学校図書館司書との連携を図りました。

◎ 「第7回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》」

「子どもと本を結びつける日常の活動を多くの人に知ってもらう」ことを目的として、おはなし会のPR強化、オープニング・エンディングおはなし会、講演会、展示（児童生徒の読書活動の成果物、中学校図書館の取り組み、図書館おはなし会協力団体等の紹介パネルなど）を行いました。

児童館とはPRの協力、おはなし会の開催などの形で連携しました。

◎ (4) 市立小・中学校への支援、学校連携

✖ 子どもの読書活動を推進する上で、図書館と学校・学校図書館の連携は特に重要です。図書館では、早くから市立小学校に学級文庫用の図書を団体貸出するなど、学校とのつながりを大切にしてきました。こうした関係が発展し、現在は学校の要望に応じて、調べ学習などのテーマに合わせた本をまとめて学校に貸し出しています。

✖ 平成18年度に図書館システムと連動した学校図書館システムが稼働し、市立小・中学校では、自校の蔵書はもちろん、市立図書館や他の学校の蔵書を一元検索できるようになりました。平成20年度には、学校図書館司書や教諭が学校図書館システムから市立図書館の蔵書データにアクセスし予約する「直接予約」を開始し、より迅速に資料提供できるようになりました。そのような図書館資料による連携・支援のほか、小学校2年生の「図書館訪問」、中学生の職場体験の受入れなどにも力を入れています。

✖ また、図書館が作成したブックリストを、学校を通じて児童・生徒に配布するなどの連携・協力も行っています。

✖ 現在、学校と図書館をつなぐ連絡車を週3便運行し、希望された図書やブックリストなどを配送しています。こうした物流も含め、さらに密な連携に努めます。

① 調べ学習・朝読書などの資料の「一時移管」

✖ 「一時移管」とは、市立図書館の蔵書を一時的にその学校図書館の蔵書にするシステムです。期間中は、その学校の児童、生徒は、市立図書館の蔵書を学校図書館の蔵書と同じように借りることができます。子どもの本も、写真集、画集のように一般向けの本も、市立図書館の全ての蔵書で学校図書館をバックアップしています。

| | 小学校 | | 中学校 | | 計 | | 前年度比※ |
|--------|-----|--------|-----|--------|-----|---------|-------|
| 平成26年度 | 17校 | 6,444冊 | 9校 | 2,840冊 | 26校 | 9,284冊 | 92% |
| 平成25年度 | 18校 | 6,616冊 | 9校 | 3,564冊 | 27校 | 10,180冊 | 117% |
| 平成24年度 | 18校 | 6,255冊 | 8校 | 2,451冊 | 26校 | 8,706冊 | 116% |

| 小学校名 | 件数 | 冊数 | 小学校名 | 件数 | 冊数 | 中学校名 | 件数 | 冊数 |
|------|----|-------|------|-----|-------|------|----|-------|
| 多摩第一 | 5 | 203 | 西落合 | 18 | 693 | 多摩 | 12 | 218 |
| 多摩第二 | 4 | 123 | 大松台 | 6 | 135 | 東愛宕 | 3 | 23 |
| 多摩第三 | 26 | 1,745 | 諏訪 | 26 | 664 | 和田 | 4 | 22 |
| 連光寺 | 18 | 799 | 永山 | 14 | 423 | 諏訪 | 10 | 100 |
| 北諏訪 | 3 | 108 | 瓜生 | 26 | 538 | 聖ヶ丘 | 20 | 695 |
| 東寺方 | 9 | 359 | 東落合 | 2 | 49 | 鶴牧 | 8 | 376 |
| 西愛宕 | 6 | 94 | 貝取 | 13 | 292 | 多摩永山 | 18 | 961 |
| 南鶴牧 | - | - | 豊ヶ丘 | 9 | 171 | 落合 | 4 | 259 |
| 聖ヶ丘 | 2 | 30 | 愛和 | 1 | 18 | 青陵 | 6 | 186 |
| | | | 合計 | 188 | 6,444 | 合計 | 85 | 2,840 |

◎ 学校図書館司書カードでの貸出

✖ 貸出冊数 6,846冊

✖ 調べもの、選書の比較検討など、学校図書館司書が業務で必要な資料を、専用のカードで借りることができます。

◎ 図書の配布会

✖ 学校数 12校 732冊 児童館・学童クラブ、保育園 7施設 508冊
図書館で複本調整を行った除籍図書、図書館に寄贈された図書などを、配布会を開いて学校図書館等に差し上げ有効活用を努めました。

◎ その他、学校・学校図書館への支援

✖ 学校図書館が購入した図書データの登録 週1回

✖ 寄贈等で学校図書館が蔵書登録を希望する図書の書誌データの登録

✖ 教育部教育指導課と共同で学校図書館システム研修等を実施

✖ 新任の学校図書館司書を対象とした操作研修

✖ 学校図書館システムのセキュリティ等全般的な管理及び操作についての質問対応や障害発生時の対応

✖ 学校図書館司書研修会への参加

◎ 図書館訪問（小学2年生対象）

“読むことを学習し、一人読みを始める年齢”といわれる小学2年生にクラス単位で図書館を訪問してもらい、図書館の見学、図書館の利用案内を行うとともに、クイズや大型紙芝居（絵本）の読み聞かせを通して本の楽しさを伝えています。

図書館訪問実施状況

| 期日 | 学校名 | クラス数 | 人数 | 担当館 |
|--------|----------|-------|--------|--------|
| 5月29日 | 北諏訪小学校 | 3クラス | 71人 | 永山図書館 |
| 6月12日 | 永山小学校 | 3クラス | 77人 | 永山図書館 |
| 6月24日 | 多摩第二小学校 | 2クラス | 70人 | 東寺方図書館 |
| 6月26日 | 多摩第一小学校 | 4クラス | 134人 | 関戸図書館 |
| 7月1日 | 多摩第二小学校 | 2クラス | 70人 | 東寺方図書館 |
| 7月15日 | 愛和小学校 | 1クラス | 25人 | 東寺方図書館 |
| 9月25日 | 諏訪小学校 | 3クラス | 40人 | 永山図書館 |
| 10月2日 | 多摩第三小学校 | 2クラス | 59人 | 永山図書館 |
| 10月20日 | 南鶴牧小学校 | 3クラス | 96人 | 唐木田図書館 |
| 10月21日 | 西落合小学校 | 3クラス | 75人 | 図書館本館 |
| 10月23日 | 貝取小学校 | 2クラス | 60人 | 豊ヶ丘図書館 |
| 11月13日 | 東寺方小学校 | 3クラス | 83人 | 関戸図書館 |
| 11月27日 | 連光寺小学校 | 2クラス | 68人 | 聖ヶ丘図書館 |
| 12月1日 | 大松台小学校 | 3クラス | 89人 | 唐木田図書館 |
| 12月4日 | 聖ヶ丘小学校 | 2クラス | 35人 | 聖ヶ丘図書館 |
| 12月4日 | 西愛宕小学校 | 1クラス | 14人 | 永山図書館 |
| 12月11日 | 東落合小学校 | 2クラス | 61人 | 豊ヶ丘図書館 |
| 1月29日 | 瓜生小学校 | 2クラス | 48人 | 永山図書館 |
| 合計 | 18回（17校） | 43クラス | 1,175人 | |

◎ 総合学習等での図書館見学など

| 期日 | 学校名 | 学年 | 人数 | 担当館 | 内容 |
|-------|--------|-----|-----|--------|-------|
| 6月16日 | 別所小学校※ | 2年生 | 60人 | 唐木田図書館 | 図書館見学 |

※八王子市公立小学校

◎ 中学生職場体験

次の目的が達成できるよう、中学1・2年生の職場体験を受け入れています。

ア 地域の人との「出会い・ふれあい」を大切にし、思いやりの心を養う。

イ 実際に働き、仕事について学び、マナーや礼儀作法などの社会性を身につける。

ウ 職場での体験を通して多くのことを感じ、新しい自己発見・自己理解をする機会とする。

| 学校名 | 期間 | 担当館別受入れ人数 | | | | | | | |
|-------------|-------------|-----------|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| | | 本館 | 東寺方 | 豊ヶ丘 | 関戸 | 聖ヶ丘 | 永山 | 唐木田 | 合計 |
| 多摩中学校 | 6/9～6/13 | 2人 | - | - | 2人 | - | 2人 | - | 6人 |
| 多摩中学校(支援学級) | 7/22～7/25 | - | - | - | 1人 | - | - | - | 1人 |
| 東愛宕中学校 | 2/2～2/6 | 2人 | 2人 | - | - | - | - | - | 4人 |
| 和田中学校 | 10/27～10/31 | 2人 | 2人 | - | - | - | 2人 | - | 6人 |
| 諏訪中学校 | 11/5～11/7 | 2人 | - | - | 2人 | 3人 | 2人 | - | 9人 |
| 聖ヶ丘中学校 | 2/3～2/5 | - | - | - | 2人 | 2人 | - | - | 4人 |
| 鶴牧中学校 | 9/30～10/2 | 2人 | - | 2人 | - | - | 2人 | 2人 | 8人 |
| 多摩永山中学校 | 11/25～11/28 | - | - | - | - | - | 2人 | 2人 | 4人 |
| 落合中学校 | 1/19～1/23 | 2人 | - | 2人 | - | - | - | 2人 | 6人 |
| 落合中学校(支援学級) | 12/3～12/5 | 1人 | - | - | - | - | - | - | 1人 |
| 青陵中学校 | 9/9～9/11 | 2人 | - | 2人 | - | - | - | 2人 | 6人 |
| 合計 | | 15人 | 4人 | 6人 | 7人 | 5人 | 10人 | 8人 | 55人 |

※多摩市全体の学校図書館や児童生徒ごとの利用検証(行政評価)がない。教育委員会や図書館協議会で、学校読書活動の実績確認があるとよい。

次ページの表形式資料
出典) 図書購入費・蔵書数・貸出など教育指導課から資料拝借

●数字から想像されるポイント

✖ 小学校の児童ひとり当たり年間の利用冊数は、全国的事例に見るように、100冊～や150冊～の活発な学校も出ている。
✖ H25年度の連行寺小、西愛宕小、東落合小、H26年度の多摩三小、西愛宕小、諏訪小、H27年度の多摩三小、西愛宕小、諏訪小、瓜生小、が注目され、その理由が興味深い。
✖ 利用密度の高い学校は、小規模校であることや学校司書さんや学校全体の取り組みも想像される所だが、当該年次の図書購入費が児童一人当たり1000円を超えていることと対応しているように観察される。これは公共図書館の検証と似ている。
✖ 資料費を充当することが、学校図書館利用を成長させることにつながる事が確認されるが、今後、公共図書館の支援策として新鮮で豊富な図書の団体貸し出しなども、期待される。児童書の団体貸し出し用の副本購入も新計画に求められよう。

✖ 中学校の学校図書館利用の状況は、発展途上と考えられる。学校司書さんや学校と相談して、新本館計画や支援蔵書構成など、公共図書館の整備方針に読み込むべき項目と思われる。

✖ 最近3カ年の学校図書館の状況を、下表にまとめている。児童生徒数は、横ばいである。
✖ 蔵書数や資料費の投入に大きな変化はなく、利用の平均値も大きな成長変化が見られない。学校教育の図書館状況である。
✖ 数字から読み取れない要素としては、学校図書館蔵書冊数の新鮮度、魅力ということだろう。蔵書の増加率で単純に想像すると、1年で2%程度の資料世界の変化ということになる。

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|----------------|-------------------|------------|------------|------------|
| 小学校合計 (12校) | 児童数 | 6,823人 | 6,847人 | 6,897人 |
| | 図書購入費 | 6,014,124円 | 5,728,090円 | 5,631,769円 |
| | 児童ひとり当たり 図書購入費 | 881.4円 | 836.6円 | 816.6円 |
| | 蔵書数 | 185,458点 | 186,419点 | 191,038点 |
| | 児童ひとり当たり 蔵書数 | 27.2点 | 27.2点 | 27.7点 |
| | 貸出数 | 424,140点 | 425,164点 | 441,658点 |
| | 児童ひとり当たり 貸出数 | 62.2点 | 62.1点 | 64.0点 |

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------------|-------------------|------------|------------|------------|
| 中学校合計 (9校) | 児童数 | 2,872人 | 2,910人 | 2,910人 |
| | 図書購入費 | 3,288,804円 | 3,639,087円 | 3,553,484円 |
| | 生徒ひとり当たり 図書購入費 | 1,145.1円 | 1,250.5円 | 1,221.1円 |
| | 蔵書数 | 94,497点 | 96,569点 | 98,519点 |
| | 生徒ひとり当たり 蔵書数 | 32.9点 | 33.2点 | 33.9点 |
| | 貸出数 | 37,696点 | 41,397点 | 39,373点 |
| | 生徒ひとり当たり 貸出数 | 13.1点 | 14.2点 | 13.5点 |

「多摩市の学校図書館のこと、お話を聞かせてください。」 ②大分県竹田市(人口2.3万人)の学校図書館のこと

わたしたちの図書館基本構想 1-2 竹田市の図書館サービスのいま
第1章竹田市の図書館のいま

1-2-③ 小・中学校図書館への取り組みと成果

竹田市には12小学校と6中学校があります。中心市街地でも学年は30人以下、離れた郊外には全校で20人規模の学校もあり状況は多様です。調査では、学校図書館の状況を利用統計から概観し、特徴的な小学校2校を訪問してお話を伺い纏めました。

学校図書館の現状(司書配置:専任1名・2~3校兼務7名)

- ・小学校12校、中学校6校に学校司書が8名配置されています。(2014年度から9)
- ・2~3校兼務での対応のため、17校は学校図書館に司書のいない日もあります。
- ・資料費が投入され、場も魅力を工夫し、生徒一人100冊利用の学校もあります。
- ・蔵書数は満たしているが古い本も並ぶ。成果が強く出ていない学校もまだある。(バーコード化されパソコン管理されている学校と、されていない学校がある。)

市立図書館の学校への取り組み(学校司書の経験があり協力関係が出来ている。)

- ・各学校への団体貸出(読書月間や朝の読み聞かせ用)
- ・授業等で使用する本のリクエスト(各担任からの要望)
- ・ブックトークや読み聞かせ(小・中学校へ)
- ・学校司書との情報交換
- ・読み聞かせの講習(小学校へ)
- ・職場体験の受け入れ(中学2年生)
- ・社会見学(小学2年生)

課題

- ・資料の充実
- ・各学校間の連携
- ・魅力ある学校図書館づくり
- ・専任司書の雇用

※小中学校図書館では公共図書館から職員が応援で出掛けるが、資料応援の力がない。学校独自の政策で立つ。

地方の小都市の中学校図書館の生徒1人平均26冊は、司書達の試みの成果だろう。

| 小学校 | 生徒数 | 蔵書冊数 | 貸出冊数 | 生徒一人当たりの貸出冊数 | 年間資料費(円) | 一人当たりの資料費(円) |
|----------|-----|--------|--------|--------------|-----------|--------------|
| 竹田 竹田小学校 | 144 | 7,676 | 6,810 | 47.3 | 234,800 | 1,630 |
| 豊岡小学校 | 68 | 6,130 | 2,560 | 37.6 | 153,800 | 2,261 |
| 南部小学校 | 180 | 8,463 | 17,131 | 92.6 | 278,100 | 1,545 |
| 祖峰小学校 | 41 | 5,177 | 4,978 | 121.4 | 122,700 | 2,992 |
| 菅生小学校 | 37 | 3,387 | 3,832 | 89.1 | 118,300 | 3,197 |
| 宮城台小学校 | 23 | 3,285 | 2,969 | 129.1 | 97,200 | 4,226 |
| 城原小学校 | 18 | 2,974 | 955 | 53.0 | 102,700 | 5,705 |
| 久住 久住小学校 | 78 | 10,740 | 3,477 | 44.5 | 123,800 | 1,587 |
| 都野小学校 | 52 | 6,225 | 5,389 | 103.6 | 163,800 | 3,150 |
| 白丹小学校 | 42 | 6,035 | 3,955 | 94.1 | 140,492 | 3,345 |
| 直入 直入小学校 | 97 | 9,872 | 8,672 | 89.4 | 184,900 | 1,906 |
| 荻 荻小学校 | 104 | 5,821 | 6,861 | 65.9 | 192,600 | 1,852 |
| 12小学校 合計 | 884 | 75,785 | 67,589 | 75.3 | 1,913,192 | 2,164 |

| 中学校 | 生徒数 | 蔵書冊数 | 貸出冊数 | 生徒一人当たりの貸出冊数 | 年間資料費(円) | 一人当たりの資料費(円) |
|----------|-----|--------|--------|--------------|-----------|--------------|
| 竹田 竹田中学校 | 140 | 9,074 | 3,743 | 26.7 | 343,300 | 2,452 |
| 竹田南部中学校 | 141 | 10,992 | 3,853 | 27.3 | 343,300 | 2,435 |
| 久住 久住中学校 | 59 | 7,794 | 1,298 | 22.0 | 218,200 | 3,698 |
| 都野中学校 | 35 | 6,220 | 1,247 | 35.6 | 181,100 | 5,174 |
| 直入 直入中学校 | 44 | 8,270 | 711 | 16.1 | 195,000 | 4,432 |
| 荻 緑ヶ丘中学校 | 75 | 6,530 | 2,065 | 27.5 | 244,400 | 3,259 |
| 6中学校 合計 | 494 | 48,810 | 12,917 | 26.1 | 1,525,300 | 3,088 |

●人口2.3万人の、大分県の山間のまちでも、学校司書さんとモデル図書室の試みが始まる。活気ある利用は、資料費と司書さんの熱意と相関がありそうだ。

南部小学校図書室ヒアリング

日時:平成26年2月28日(金)午後3:20~
場所:南部小学校 図書室
出席:南部小学校:三宮司書
竹田市立図書館:麻生司書
寺田大塚小林計画同人:寺田、小林

○学校図書室の設置場所と設備について

- ・H16年にモデル校として図書室を整備。「一般市民開放型」として1階に設置されている。現在は市民開放はしていない。
- ・図書室は昇降口から続くホールに面していて、大きく入り口が開いている。
- ・中庭に面していて、ベンチに出て本を読む児童もいる。配送車からの図書の受け取りに便利。
- ・授業が1クラス分の机席あり。パソコン授業の教室と一体のつくりで、広々としている。
- ・お話室、畳コーナー、小さな読書席など居心地の良い図書室になる工夫がされている。

○学校図書室の資料について

- ・現在の蔵書は8,463冊。竹田市内では平均より少し多い程度だが、書架にはまだ余裕がある。
- ・貸出はコンピュータで管理されている。

○市立図書館との連携について

- ・学級文庫への団体貸出。
- ・授業用の図書の団体貸出。
- ・団体貸出された図書は、南部小学校では図書室で整理されて、各学級へ届けられている。

○学校図書室の利用状況について

- ・生徒数180人、生徒一人あたりの貸出は92.6冊。
- ・専任司書を配置。司書が授業を行うこともある。
- ・学校図書室を使って、調べ学習を行っている。
- ・休み時間の利用は多い。
- ・読み聞かせは、学校図書室のお話コーナーを使って行っている。



図書室入口には貸出デスクがある。図書の分類表等、図書館利用の学習への工夫や季節ごとの展示がある。



お話室があり、ここで読み聞かせを行っている。40人の机席では、調べ学習の授業を行っている。



畳コーナーには、低学年にも手に取りやすい絵本や展示があり、図書室に親しめる工夫がされている。



1階に「一般市民開放型」として設置された図書室。広さに余裕があり、読書コーナーなどが充実している。



課題図書や季節の図書は、司書手で表紙見せの展示や手作りの飾りを加えて目と留める工夫がされている。

多摩市の学校の児童生徒は、豊かに本に出会えていますか。

「多摩市の学校図書館のこと、お話を聞かせてください。」②佐賀県伊万里市(人口5.6万人)の学校図書館のこと

多摩市立図書館本館再構築基本構想
学校司書さんとの話/聞き取り資料
2016.09.23.

○新館開館準備の23年前から、伊万里市の図書館づくりでは、学校図書館の充実と公共連携を目標の両輪として、市民と研究をしてきました。なのに、学校別投資対効果の検証がされていない。公共図書館が調べてくれています。朝読から家読に活動は展開しているようですが。

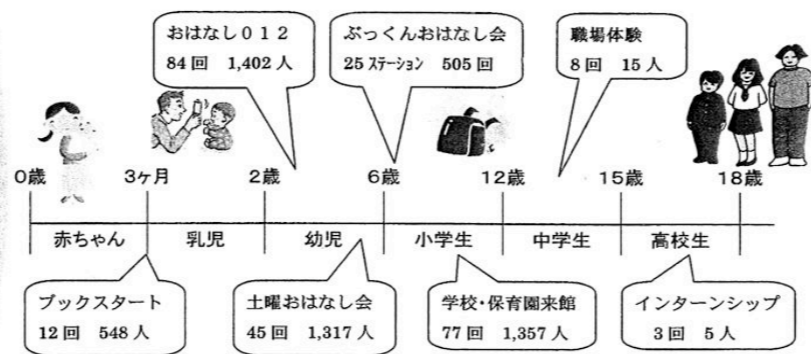
平成28年 9月 9日送付

着信先 寺田・大塚・小林計画同人 寺田 様
送信者 伊万里市民図書館 発信者名 末次 健太郎
件名 学校図書館調査について 送付枚数 1 枚
(送付書含む)
メッセージ 緊急:□ 重要:□ 返信:□

いつもお世話になっています。伊万里市民図書館の末次健太郎です。
昨日、お問い合わせいただいた標記の件についてですが、調査物などの取りまとめを担当している学校教育課に問い合わせました。すると、学校ごとの蔵書冊数、貸出冊数については、それぞれの学校では把握しているものの教育委員会でまとめていないという回答でした。
そこで、市民図書館から各学校に照会して、お尋ねいただいた数値をこちらでまとめようと考えております。そのためにもう少しお時間をいただけたらと思います。誠に申し訳ありません。なお、現在把握している伊万里市小・中学校全体の数値は以下のとおりとなっています。
・小学校(16校) 児童数 3,182名、図書購入費 374万3千円、1人あたりの図書購入費 1,176円
・中学校(8校) 生徒数 1,642名、図書購入費 336万4千円、1人あたりの図書購入費 2,048円
※平成27年度決算

伊万里市の16小学校:生徒数3,182人。 図書購入費374.3万円。 1人あたり図書購入費1,176円。
伊万里市の 8中学校:生徒数1,642人。 図書購入費336.4万円。 1人あたり図書購入費2,048円。
(H27年度)

子どもの読書推進活動

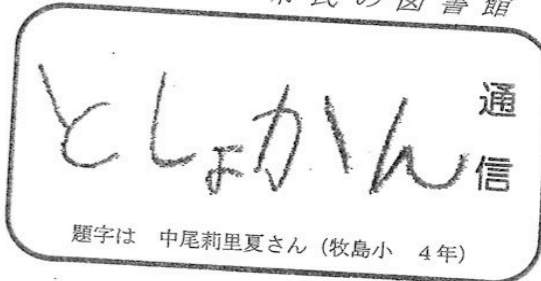


伊万里市民図書館の望ましい基準値(目標値)との比較

| 1. 施設 | 目標値 | H25年度実績 | 達成率 | 前年度 | 比較 |
|---------------|----------|----------|--------|--------|----|
| 図書館数 | 1館 | 1館 | 100% | 100% | → |
| 自動車図書館数 | 2台 | 2台 | 100% | 100% | → |
| 2. 職員 | | | | | |
| 職員数(内司書数)(注1) | 6人(6人) | 5人(3人) | 50.0% | 66.7% | ↓ |
| 嘱託職員数(内司書数) | 8人(8人) | 8人(8人) | 100% | 100% | → |
| 臨時職員数(内司書数) | 3人(3人) | 4人(1人) | 33.3% | 33.3% | → |
| 3. 資料 | | | | | |
| 資料購入費 | 30,000千円 | 18,287千円 | 61.0% | 50.9% | ↑ |
| 蔵書点数(注2) | 350,000点 | 382,912点 | 109.4% | 106.9% | ↑ |
| 図書年間購入冊数(注3) | 15,725冊 | 9,672冊 | 61.5% | 57.0% | ↑ |
| 雑誌年間購入冊数 | 250タイトル | 162タイトル | 64.8% | 68.0% | ↓ |
| 新聞年間購入種数 | 15紙 | 9紙 | 60.0% | 53.3% | ↑ |
| 視聴覚資料年間購入点数 | 550点 | 227点 | 41.3% | 18.4% | ↑ |
| 新規図書冊数比(注4) | 11.30% | 9.67% | 85.6% | 79.3% | ↑ |
| 4. 提供 | | | | | |
| 登録率 | 78% | 68.0% | 87.2% | 84.4% | ↑ |
| 貸出資料数 | 550,000点 | 509,641点 | 92.7% | 93.7% | ↓ |
| 貸出密度(注5) | 9.17点 | 8.93点 | 97.4% | 97.9% | ↓ |
| 予約受付件数 | 9,000件 | 9,010件 | 100.1% | 100.9% | ↓ |
| 参考業務(レファ)受付件数 | 15,100件 | 17,802件 | 117.9% | 115.1% | ↑ |
| 団体貸出冊数 | 60,000冊 | 139,821冊 | 233.0% | 235.6% | ↓ |

伊万里をつくり 市民とともにそだつ 市民の図書館

平成27年 春号(第184号)
発行:伊万里市民図書館
(伊万里市立花町4110-1)
TEL:23-4646 FAX:22-3231
IP:050-3541-3518 <OCN,Phone>
ホームページ
http://www.library.city.imari.saga.jp/



読書の習慣から文化の創造へ

2月14日に「家読推進講演会」が開催され、三郷市の星健次郎さんの講演を聞くことができた。
○学校の先生としての見方、考え方。

この他にも学校で様々な教科において学校図書館を活用した授業づくりに取り組まれていることや読書環境整備(物的環境・人的環境)、学校・家庭・地域の連携協働など大変興味深い内容が紹介された。伊万里市の家読が次にめざすものは何か?一つのヒントを得たような気がする。本に親しませることだけではなく、表現活動につなげ、人と人の結びつきに高める。そんな仕掛けが必要ではないかと気付かされた。

メールやラインなどのやり取りで過ごす時間が、下校後の子どもの生活時間の大半を占め問題となっている。それがもて交友関係に悩み苦しんだり、トラブルや事件に巻き込まれたりということも身近で起きている。機械を通してではない、人対人の心の通ったコミュニケーションを取り戻すためにも、読書活動を通して心を育てること、家読によって人と人の絆を深めることが求められているのではないだろうか。家読の果たす大きな役割を再認識した講演会であった。
(立花小学校校長 杉原あけみ)



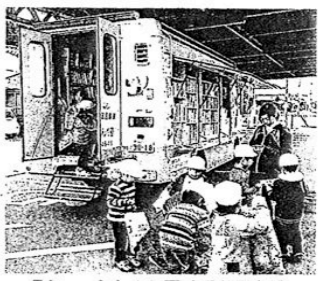
○こども読書の推進が、親子で読書をたのしむ家庭を応援する運動になって、公共図書館と学校図書館が力を合わせている。

2015年(平成27年)1月26日(月曜日) 地域の話 20

いすの木のもとで 市内71カ所、年14万冊貸し出し

伊万里市民図書館だより
伊万里では、どこに住んでも図書館サービスを利用できるように、2台の自動車図書館が市内の隅々まで走っています。市民の付けた名前「ぶっくん」1号、2号。約3000冊もの本を載せ、保育園や小・中学校、病院ほか公民館や企業に2週間に一度、71カ所で年間14万冊の本を貸し出しています。
子どもたちには「お話しキャラバン」のメンバーと図書

館司書がおはなしの配達もしています。子どもたちは「ぶっくん」に乗って絵本を選ぶのが大好きで、小・中学生は朝読用の学級文庫の本を選んでくれます。教室のいつでも手に取れる場所に図書館の本が並んでいるってすてきですね。
図書館に行きたくても行けない高齢者は「ぶっくん」の巡回を心待ちにされています。歴史小説や大活字の本が人気です。
平成3年から運行を始めた



「ぶっくん」1号を利用する園児たち 伊万里市内

移動図書館とボランティアと一緒に保育園や学校にでかけてゆいて、お話を聞きあわせの出前をする。

「伊万里をつくり 市民とともにそだつ 市民の図書館」

伊万里市民図書館
〒848-0027 佐賀県伊万里市立花町4110番地1

蔵書点数
382,912点

- 一般書: 244,547冊
- 児童書: 70,992冊
- 雑誌: 21,863冊
- 視聴覚資料: 10,160点
- ぶっくん: 31,052冊
- 黒川公民館: 3,769冊
- 松浦公民館: 529冊

予約・リクエスト
9,780件

- 図書: 8,594件
- 雑誌: 269件
- 視聴覚資料: 222件
- リクエスト(未所蔵分): 695件

レファレンス(相談・参考業務)
17,802件

- 利用案内: 6,708件
- 所在調査: 10,459件
- 事実調査: 558件
- 文献調査: 77件

集会文化活動

図書館主催及び共催活動:
142回 3,545人
展示コーナー: 232日間
上映会: 19回 251人
図書館☆(ほし)まつり:
4,000人 [2日間]

○レファレンス数が多くなっている。

保育園・幼稚園のサービス。ポイントに合わせて紙芝居や絵本など図書を入替える。



学校の軒先での移動図書館車のサービス拠点。下校時間は買い物のお年寄りも顔を合わせる。



小学校のポイントは休み時間に合わせて出かけてゆく。利用が集中するので配本車のコンテナを広げて貸し出す。



「多摩市の学校図書館のこと、お話を聞かせてください。」②佐賀県伊万里市(人口5.6万人)の学校図書館のこと 多摩市立図書館本館再構築基本構想 学校司書さんとの話/聞き取り資料 2016.09.23.

○伊万里市民図書館からの追伸です。学校図書館の状況のレファレンスの回答を頂きました。
 ○末次係長さんの文章には、「学校ごとの蔵書冊数、貸し出し冊数の集計をしました。また、市民図書館から各学校へ、自動車図書館の巡回や団体貸出にて支援を行っておりますので、その状況も合わせて一覧表を作成しました。この表を基にして、アウトリーチサービスの検証を行い、参考にしながら今後の計画を立てていきたいと思っております。」とありました。

※小中学校図書館の評価は、貸出総数や生徒1人貸出密度だけでは測れないという声は常にある。しかし、他市の取り組みと比較し、それ以上に、自館の経年的統計を内観することで、運営の改善や診断の眼を耕せるだろう。なにより、貸出は物言えぬこども達の支持の表明である。

| | 児童・生徒数 | 学校図書館 | | | | | 自動車図書館「ぶっくん」及び団体貸出 | | | | | |
|-----------|--------|---------|---------|-----------|-----------|------------|--------------------|---------|----------|----------|------------|------------|
| | | 蔵書冊数 | 貸出点数 | 1人当たり貸出点数 | 図書購入費 | 1人当たり図書購入費 | 巡回数 | 個人貸出 | 団体貸出 | 合計 | 1巡回当たり個人貸出 | 1巡回当たり団体貸出 |
| 1 伊万里小学校 | 545 | 13,079 | 50,887 | 93.4 | 424,000 | 778.0 | 13 | 748 | 5,707 | 6,455 | 57.5 | 439.0 |
| 2 牧島小学校 | 77 | 5,515 | 11,526 | ○ 149.7 | 171,996 | ○ 2,233.7 | ● 21 | 325 | 6,362 | 6,687 | 15.5 | 303.0 |
| 3 大坪小学校 | 539 | 10,975 | 58,005 | ○ 107.6 | 434,170 | 805.5 | 11 | 0 | 8,010 | ● 8,010 | 0.0 | ● 728.2 |
| 4 立花小学校 | 492 | 10,436 | 23,029 | 46.8 | 387,771 | 788.2 | 11 | 0 | 5,810 | ● 5,810 | 0.0 | ● 528.2 |
| 5 大川内小学校 | 99 | 7,160 | 15,072 | ○ 152.2 | 186,842 | ○ 1,887.3 | 19 | 261 | 3,158 | 3,419 | 13.7 | 166.2 |
| 6 黒川小学校 | 153 | 7,251 | 16,091 | ○ 105.2 | 199,944 | 1,306.8 | ● 20 | 964 | 4,340 | 5,304 | ● 48.2 | 217.0 |
| 7 波多津小学校 | 57 | 5,602 | 3,473 | 60.9 | 157,988 | ○ 2,771.7 | ● 21 | 422 | 5,900 | ● 6,322 | 20.1 | 281.0 |
| 8 波多津東小学校 | 26 | 6,016 | 3,110 | ○ 119.6 | 134,998 | ○ 5,192.2 | ● 21 | 476 | 1,790 | 2,266 | 22.7 | 85.2 |
| 9 南波多小学校 | 134 | 9,707 | 13,220 | 98.7 | 192,996 | 1,440.3 | ● 21 | 22 | 4,709 | 4,731 | 1.0 | 224.2 |
| 10 大川小学校 | 107 | 5,657 | 10,098 | 94.4 | 180,590 | ○ 1,687.8 | ● 20 | 792 | 4,024 | 4,816 | 39.6 | 201.2 |
| 11 松浦小学校 | 112 | 6,084 | 6,887 | 61.5 | 188,120 | ○ 1,679.6 | ● 22 | 519 | 6,066 | ● 6,585 | 23.6 | 275.7 |
| 12 二里小学校 | 253 | 6,184 | 21,364 | 84.4 | 266,589 | ○ 1,053.7 | ● 21 | 222 | 7,127 | ● 7,349 | 10.6 | 339.4 |
| 13 東山代小学校 | 349 | 6,766 | 25,940 | 74.3 | 315,996 | 905.4 | ● 20 | 318 | 7,791 | ● 8,109 | 15.9 | 389.6 |
| 14 滝野小学校 | 13 | 5,585 | 1,526 | ○ 117.4 | 143,867 | ○ 11,066.7 | ● 20 | 387 | 2,383 | 2,770 | 19.4 | 119.2 |
| 15 山代東小学校 | 162 | 10,624 | 12,219 | 75.4 | 203,234 | 1,254.5 | ● 23 | 662 | 5,531 | ● 6,193 | 28.8 | 240.5 |
| 16 山代西小学校 | 64 | 7,372 | 5,745 | 89.8 | 153,822 | 2,403.5 | ● 22 | 889 | 3,797 | 4,686 | 40.4 | 172.6 |
| 小学校合計 | 3,182 | 124,013 | 278,192 | ◎ 87.4 | 3,742,923 | ◎ 1,176.3 | - | ◎ 7,007 | ◎ 82,505 | ◎ 89,512 | - | - |
| 1 伊万里中学校 | 554 | 13,496 | 5,569 | 10.1 | 750,000 | 1,353.8 | | | | | | |
| 2 啓成中学校 | 318 | 8,824 | 4,389 | 13.8 | 528,707 | ○ 1,662.6 | | | | | | |
| 3 青嶺中学校 | 129 | 7,890 | 1,334 | 10.3 | 383,693 | ○ 2,974.4 | ● 11 | 0 | 1,100 | ● 1,100 | 0.0 | 100.0 |
| 4 南波多中学校 | 88 | 7,689 | 1,422 | 16.2 | 278,077 | ○ 3,160.0 | 10 | 45 | 809 | 854 | 4.5 | 80.9 |
| 5 東陵中学校 | 105 | 6,842 | 1,115 | 10.6 | 303,863 | ○ 2,893.9 | 8 | 7 | 931 | 946 | 0.9 | 116.4 |
| 6 国見中学校 | 295 | 9,791 | 3,778 | 12.8 | 518,983 | ○ 1,759.3 | | | | | | |
| 7 滝野中学校 | 11 | 4,726 | 95 | 8.6 | 203,071 | ○ 18,461.0 | | | | | | |
| 8 山代中学校 | 142 | 10,226 | 2,818 | 19.8 | 397,144 | ○ 2,796.8 | ● 16 | 205 | 164 | 369 | 12.8 | 10.3 |
| 中学校合計 | 1,642 | 69,484 | 20,520 | ◎ 12.5 | 3,363,538 | ○ 2,048.4 | - | 257 | 3,004 | ● 3,269 | - | - |
| 小中学校合計 | 4,824 | 193,497 | 298,712 | ◎ 61.9 | 7,106,461 | ◎ 1,473.1 | - | ◎ 7,264 | ◎ 85,509 | ◎ 92,781 | - | - |
| (単位) | 人 | 冊 | 冊 | 冊/人 | 円 | 円/人 | 回 | 冊 | 冊 | 冊 | 冊/回 | 冊/回 |

※小学校図書館の貸出総数は28万冊。公共図書館BMの学校貸出 9.3万冊。約30%。児童1人87冊→116冊/人年。

※小中学校図書館の貸出総数は30万冊。公共図書館BMの学校貸出 9.3万冊。約30%。(中学の学校の貸出は難しい)児童生徒1人あたり62冊→83冊/人年。

伊万里市の16小学校：生徒数3,182人。 図書購入費374.3万円。 1人当たり図書購入費1,176円。
 伊万里市の 8中学校：生徒数1,642人。 図書購入費336.4万円。 1人当たり図書購入費2,048円。
 (H27年度)

※1 滝野小中学校一貫校は学校図書館が一緒になっているので、児童・生徒数で蔵書冊数を案分した。
 また、自動車図書館での貸し出しも一緒に行われるため、小中学校を合算した数値となっている。
 ※2 大坪小、立花小、青嶺中は本館から配本した団体貸出の冊数。
 ※3 自動車図書館の団体貸出には放課後児童クラブへの貸出も含まれる。